

三木市の人口及び高齢化率について

1 地域別の人口及び高齢化率の推移（過去 10 年）

(1) 地域別の人口の推移

平成 20 年から平成 29 年までの過去 10 年の人口の推移をみると、全体では約 5,300 人減少（△6.3%）しています。増減率では、志染、細川、口吉川及び吉川地域で減少が大きくなっています。

また、三木南地域では、さつき台団地への転入により平成 24 年までは増加傾向にありましたが、その後は団地の成熟に伴い横ばいの状況となっています。

一方、三木地域では、平田、加佐及び大村地区の住宅地開発により、平成 27 年から平成 29 年にかけて若干人口が増加しています。

（表 1）地域別の人口の推移 （単位：人、%）

| 地 域 名 | 平成20年 A | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|-------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 三 木 | 21,407 | 21,344 | 21,239 | 21,072 | 20,922 | 20,807 |
| 三 木 南 | 5,619 | 5,742 | 5,862 | 5,935 | 5,957 | 5,931 |
| 別 所 | 7,013 | 6,950 | 6,841 | 6,850 | 6,828 | 6,813 |
| 志 染 | 3,306 | 3,270 | 3,221 | 3,124 | 3,036 | 2,972 |
| 細 川 | 2,487 | 2,455 | 2,409 | 2,343 | 2,315 | 2,263 |
| 口 吉 川 | 2,014 | 1,992 | 1,977 | 1,951 | 1,925 | 1,870 |
| 緑 が 丘 | 9,617 | 9,572 | 9,469 | 9,453 | 9,389 | 9,336 |
| 自由が丘 | 17,100 | 16,988 | 16,825 | 16,713 | 16,548 | 16,497 |
| 青 山 | 6,216 | 6,194 | 6,185 | 6,165 | 6,181 | 6,195 |
| 吉 川 | 9,016 | 8,842 | 8,743 | 8,587 | 8,437 | 8,242 |
| 合 計 | 83,795 | 83,349 | 82,771 | 82,193 | 81,538 | 80,926 |

| 地 域 名 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 B | 増減 C B - A | 増減率 C / A |
|-------|--------|--------|--------|------------|---------------|--------------|
| 三 木 | 20,615 | 20,484 | 20,523 | 20,571 | △ 836 | △ 3.9 |
| 三 木 南 | 5,939 | 5,889 | 5,919 | 5,898 | 279 | 5.0 |
| 別 所 | 6,741 | 6,767 | 6,667 | 6,621 | △ 392 | △ 5.6 |
| 志 染 | 2,907 | 2,851 | 2,790 | 2,749 | △ 557 | △ 16.8 |
| 細 川 | 2,202 | 2,146 | 2,105 | 2,080 | △ 407 | △ 16.4 |
| 口 吉 川 | 1,860 | 1,836 | 1,796 | 1,732 | △ 282 | △ 14.0 |
| 緑 が 丘 | 9,256 | 9,178 | 9,183 | 9,146 | △ 471 | △ 4.9 |
| 自由が丘 | 16,373 | 16,335 | 16,238 | 16,174 | △ 926 | △ 5.4 |
| 青 山 | 6,110 | 6,071 | 6,009 | 5,938 | △ 278 | △ 4.5 |
| 吉 川 | 8,062 | 7,922 | 7,784 | 7,607 | △ 1,409 | △ 15.6 |
| 合 計 | 80,065 | 79,479 | 79,014 | 78,516 | △ 5,279 | △ 6.3 |

出典：三木市統計（各年 3 月末現在で、外国人を含む。）

(2) 地域別の高齢化率の推移

市全体の高齢化率は、平成20年で23.00%、平成29年で32.10%となっており、この10年で9.10%上昇しています。

とりわけ、細川、緑が丘及び自由が丘地域での上昇幅が大きくなっています。

(表2) 地域別の高齢化率の推移

(単位：%)

| 地域名 | 平成20年 A | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 三木 | 25.36 | 25.93 | 26.55 | 26.96 | 27.58 | 28.54 |
| 三木南 | 17.62 | 18.08 | 18.87 | 19.17 | 19.66 | 20.96 |
| 別所 | 25.35 | 26.22 | 27.03 | 27.33 | 28.47 | 29.06 |
| 志染 | 27.37 | 27.83 | 28.50 | 28.81 | 29.94 | 30.38 |
| 細川 | 29.39 | 30.02 | 30.30 | 30.94 | 31.92 | 33.27 |
| 口吉川 | 30.44 | 30.62 | 30.80 | 31.42 | 32.00 | 32.94 |
| 緑が丘 | 28.72 | 30.88 | 32.42 | 33.33 | 34.68 | 35.90 |
| 自由が丘 | 19.04 | 20.65 | 22.10 | 22.92 | 24.17 | 26.17 |
| 青山 | 11.44 | 12.09 | 12.74 | 12.98 | 13.54 | 14.85 |
| 吉川 | 23.27 | 23.94 | 24.55 | 24.70 | 25.35 | 26.66 |
| 合計 | 23.00 | 23.97 | 24.86 | 25.34 | 26.22 | 27.46 |

| 地域名 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 B | 増減 C B - A |
|------|-------|-------|-------|------------|---------------|
| 三木 | 29.59 | 30.54 | 31.18 | 31.43 | 6.07 |
| 三木南 | 22.12 | 22.91 | 23.47 | 24.47 | 6.85 |
| 別所 | 29.94 | 30.66 | 31.98 | 32.61 | 7.26 |
| 志染 | 31.37 | 33.01 | 33.98 | 34.63 | 7.26 |
| 細川 | 35.42 | 37.33 | 38.76 | 39.66 | 10.27 |
| 口吉川 | 33.76 | 35.02 | 36.47 | 38.74 | 8.30 |
| 緑が丘 | 37.53 | 38.72 | 39.46 | 40.07 | 11.35 |
| 自由が丘 | 28.28 | 30.30 | 31.81 | 32.97 | 13.93 |
| 青山 | 16.46 | 17.74 | 19.42 | 21.03 | 9.59 |
| 吉川 | 27.60 | 29.01 | 30.24 | 32.09 | 8.82 |
| 合計 | 28.83 | 30.12 | 31.20 | 32.10 | 9.10 |

出典：三木市統計（各年3月末現在で、外国人を含む。）

2 自然増減及び社会増減の推移

出生者数の減少と若者世代の流出等により、自然減、社会減の傾向にあり、特に若者世代の人口の減少が顕著となっています。

(1) 自然増減の推移

三木市の人口の自然増減（※）は、平成2年から平成27年までの25年間で、年間の出生者数は74人減少（約13%減）する一方で、死亡者数は281人増加（約55%増）しています。

出生者数から死亡者数を引いた自然増減数は、平成2年、平成7年はそれぞれ71人、54人の増加であったものが、平成22年、平成27年ではそれぞれ276人、284人の減少となっています。

（※）自然増減は、出生者数から死亡者数を引いたもの。

（表3）三木市の出生者数及び死亡者数の推移

（単位：人）

| 年次 | 出生者数 | | | 死亡者数 | | | 自然増減者数 | | |
|-------|------|-----|-----|------|-----|-----|--------|------|------|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 |
| 平成2年 | 582 | 301 | 281 | 511 | 269 | 242 | 71 | 32 | 39 |
| 平成7年 | 590 | 302 | 288 | 536 | 300 | 236 | 54 | 2 | 52 |
| 平成12年 | 584 | 306 | 278 | 549 | 306 | 243 | 35 | 0 | 35 |
| 平成17年 | 530 | 263 | 267 | 617 | 325 | 292 | △85 | △62 | △25 |
| 平成22年 | 500 | 253 | 247 | 776 | 385 | 391 | △276 | △132 | △144 |
| 平成27年 | 508 | 263 | 245 | 792 | 400 | 392 | △284 | △137 | △147 |

出典：三木市統計書

(2) 社会増減の推移

三木市の人口の社会増減（※）は、昭和 45 年以降、緑が丘などのニュータウンの開発などにより転入超過となっていました。平成 7 年の阪神・淡路大震災での一時的な転入超過を除き、平成 8 年頃から転出超過が続いています。

社会増減者数は、平成 2 年、平成 7 年はそれぞれ 639 人、689 人の増加であったものが、平成 22 年、平成 27 年ではそれぞれ 384 人、370 人の減少となっています。

（※）社会増減は、転入者数から転出者数を引いたもの。

（表 4）三木市の転入者数及び転出者数の推移

（単位：人）

| 年次 | 転入者数 | | | 転出者数 | | | 社会増減者数 | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|
| | 総数 | 県内 | 県外 | 総数 | 県内 | 県外 | 総数 | 県内 | 県外 |
| 平成 2 年 | 3,283 | 2,135 | 1,148 | 2,644 | 1,651 | 993 | 639 | 484 | 155 |
| 平成 7 年 | 3,410 | 2,480 | 930 | 2,721 | 1,555 | 1,166 | 689 | 925 | △236 |
| 平成 12 年 | 2,231 | 1,511 | 720 | 2,823 | 1,899 | 924 | △592 | △388 | △204 |
| 平成 17 年 | 2,005 | 1,265 | 740 | 2,438 | 1,458 | 980 | △433 | △193 | △240 |
| 平成 22 年 | 1,962 | 1,297 | 665 | 2,346 | 1,496 | 850 | △384 | △199 | △185 |
| 平成 27 年 | 1,873 | 1,213 | 660 | 2,243 | 1,317 | 925 | △370 | △104 | △266 |

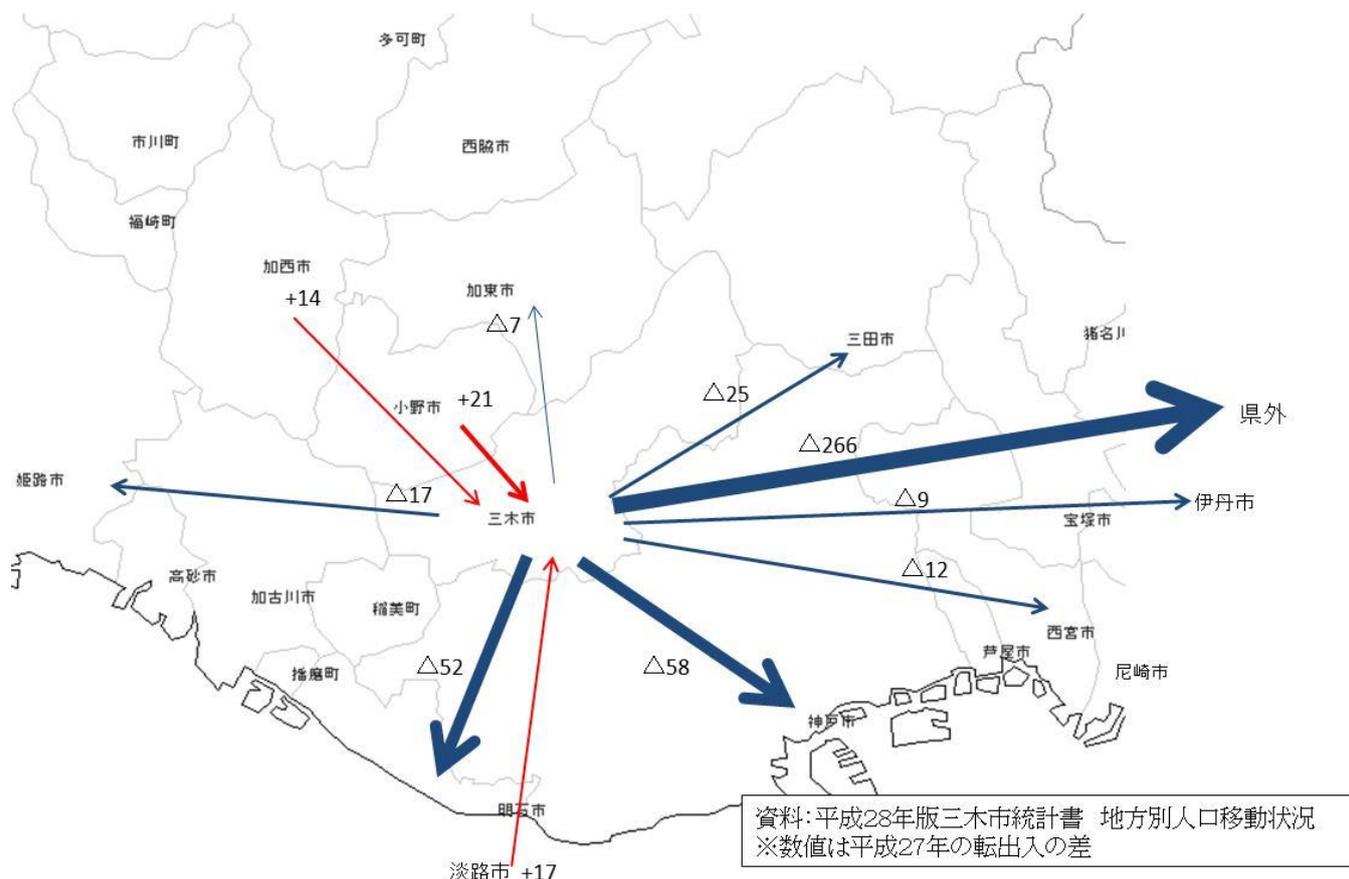
出典：三木市統計書

(3) 社会増減（転入・転出）の状況

下の図をみると、三木市は、小野市、加西市及び淡路市からの転入が多くなっています。

一方で、三木市からの転出は県外が最も多く、次いで神戸市及び明石市への転出が多い状況にあります。

(図1) 三木市の転出入の状況



次に、平成28年の年齢階層別の転出超過数(転入－転出)の状況を見ると、若年層(20～39歳)の男性は102人減少し、女性は総数(△89人)を上回る123人の減少となっており、この年代が大幅に転出超過となっています。

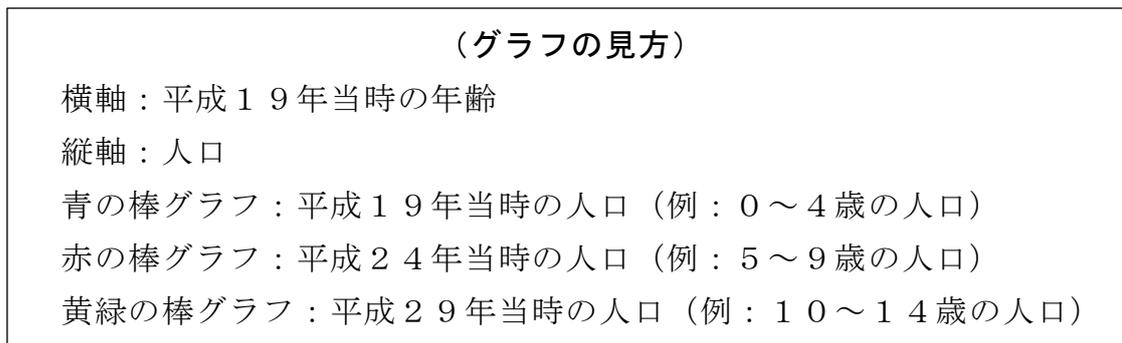
(表5) 三木市の年齢階層別転出超過数 (平成28年)

| 区分 | 総数 | 0～19歳 | 20～39歳 | 40～59歳 | 60歳～ |
|----|------|-------|--------|--------|------|
| 総数 | △169 | 80 | △225 | 21 | △45 |
| 男 | △80 | 22 | △102 | 22 | △22 |
| 女 | △89 | 58 | △123 | △1 | △23 |

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

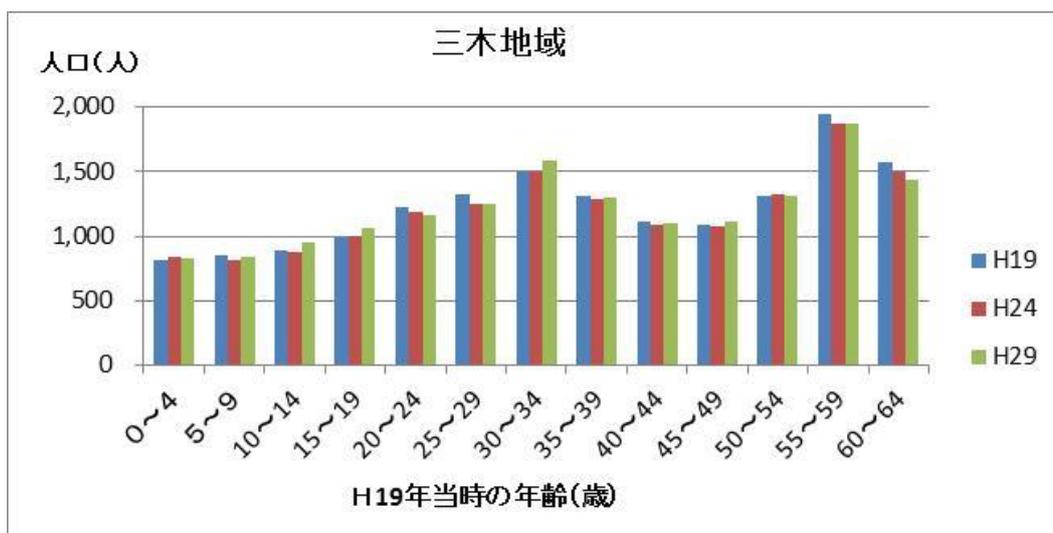
3 地域別の各世代人口の移り変わり

各世代の5年ごとの人口の推移をグラフに示します（平成19年当時において、64歳未満を対象とする。）。



(1) 三木地域

平成19年当時において20歳代の人口は平成29年にかけて減少傾向にあります。その前後の10歳代及び30歳代前半の人口は若干増加しています。



出典：三木市「住民基本台帳法に基づく集計」各年3月末現在。以下同じ。

(2) 三木南地域

平成 19 年から平成 24 年にかけて多くの世代で人口が増加していますが、平成 24 年から平成 29 年にかけては多くの世代で若干減少しています。

また、平成 19 年当時において 10 歳代後半と 20 歳代前半の人口は、平成 29 年にかけて減少傾向にあります



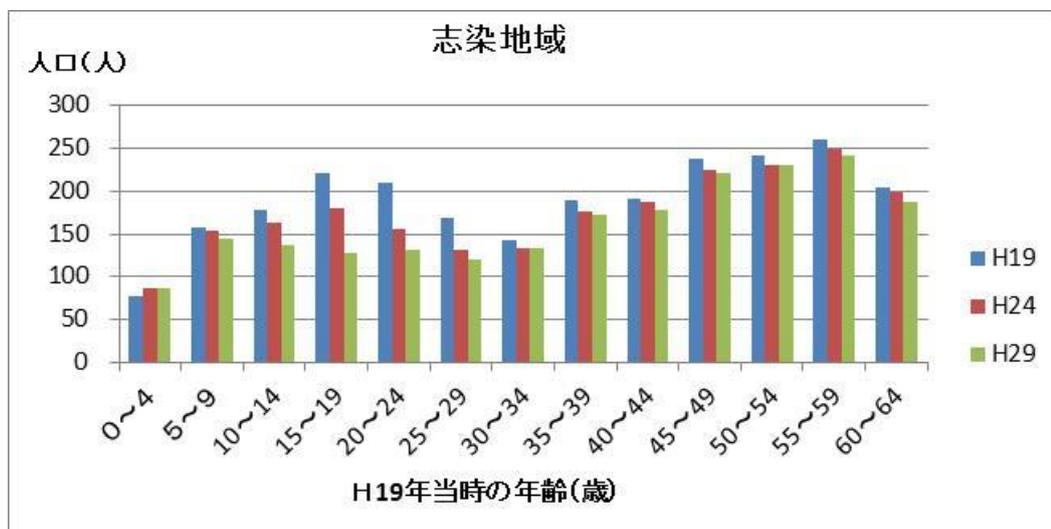
(3) 別所地域

平成 19 年当時において 10 歳代後半から 30 歳代前半の人口は、平成 29 年にかけて減少傾向にあります。その他の世代は、同程度となっています。



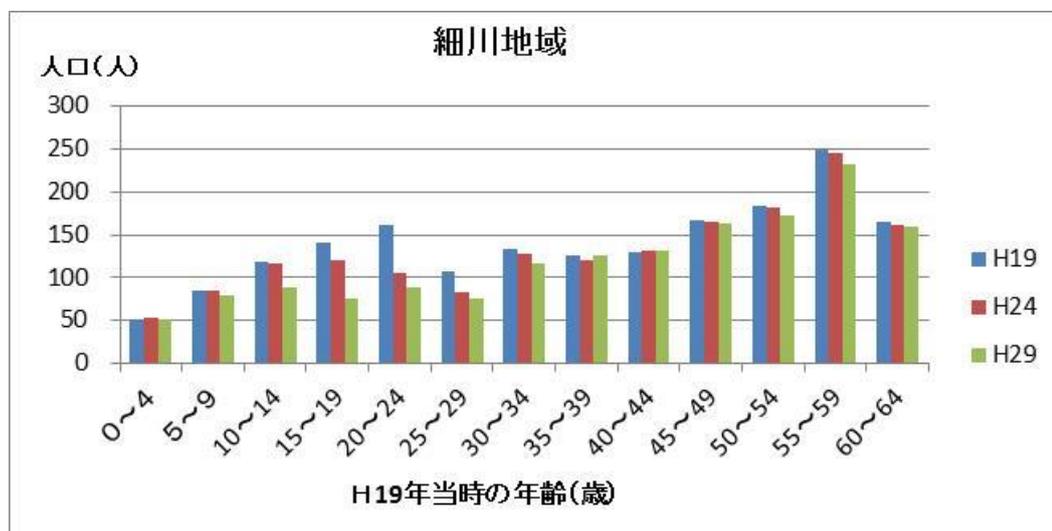
(4) 志染地域

平成 19 年当時において 10 歳代後半から 20 歳代の人口は、平成 29 年にかけて大きく減少しています。その他の世代は、同程度となっています。



(5) 細川地域

平成 19 年当時において 10 歳代後半から 20 歳代の人口は、平成 29 年にかけて大きく減少しています。その他の世代は、同程度となっています。



(6) 口吉川地域

20歳代前半から20歳代後半の人口の減少幅が大きくなっています。平成19年当時において10歳代前半の世代は平成24年にかけて増加しており、40歳代後半でも同時期に若干増加しています。



(7) 緑が丘地域

平成19年当時において10歳代後半から20歳代の人口は、平成29年にかけて若干減少しています。その他の世代は、同程度となっています。



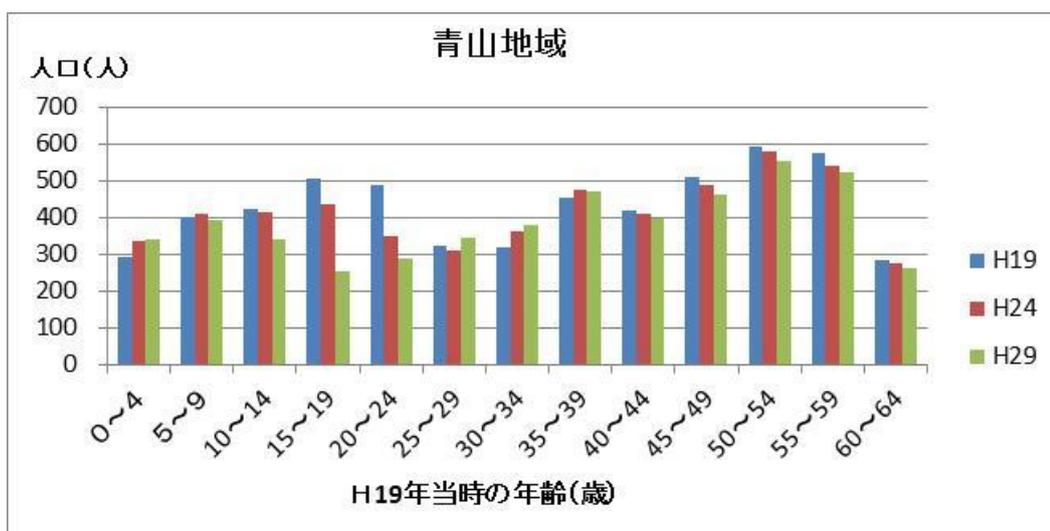
(8) 自由が丘地域

平成 19 年当時において 10 歳代後半から 30 歳代前半の人口は、平成 29 年にかけて若干減少しています。その他の世代は、同程度となっています。



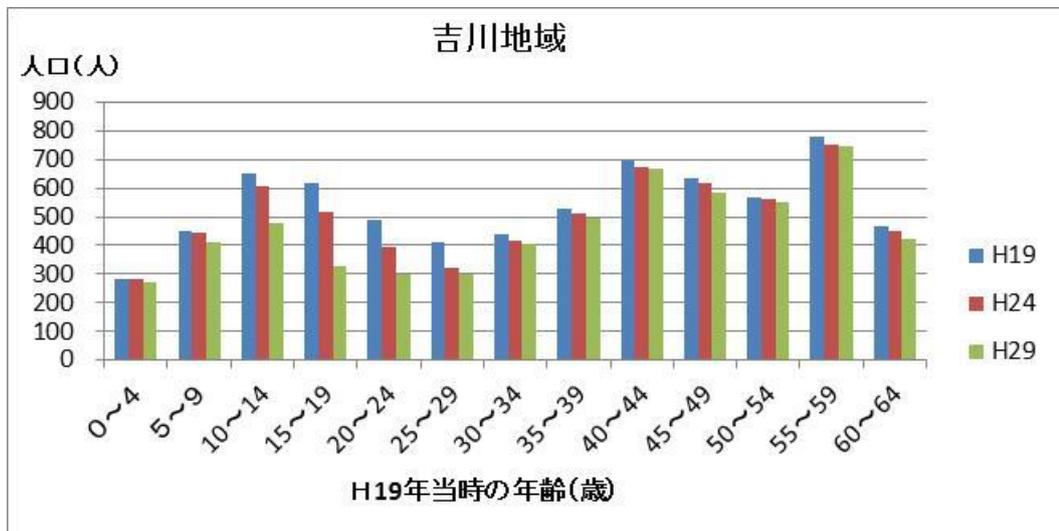
(9) 青山地域

平成 19 年当時において 10 歳代後半から 20 歳代の人口は、平成 29 年にかけて減少しています。一方で、平成 19 年当時において 10 歳未満及び 30 歳代の人口は、平成 29 年にかけて増加しています。その他の世代は、同程度となっています。



(10) 吉川地域

平成 19 年当時において 10 歳代から 20 歳代の世代は、平成 29 年にかけて人口が大きく減少しています。その他の世代でも、若干減少しています。



(11) まとめ

以上から、次のような傾向があります。

- ア 多くの地域で 10 歳代後半から 20 歳代の世代で減少傾向にあり、大学進学及び就職により、転出していることが考えられます。
- イ 三木、三木南、緑が丘及び青山地域においては若年層の転出傾向はあるものの、住宅地の開発等により子育て世代の転入による世代間の循環がみられます。
- ウ 志染、細川、口吉川及び吉川地域においては、若年層の転出が大きくなっています。
- エ 定住する世代と考えられる 50 歳代において人口が減少傾向にある地域（口吉川、青山地域等）があり、可能性として、子どもの進学や公共交通の利便性を求めた転出が考えられます。